

課題名	50. カンキツ主要病害虫の発生要因解析(黒点病)						
成果の要約	<p>1. 森氏園はシュミレーションモデルによる防除適期にそって防除が行われたため、低い発病率、発病度に抑えることができた。吉川氏園は立地条件が最も良いが、初期防除が遅れたため、前期の発病果率が森氏園より高くなった。林氏園は立地条件が悪い上に初期防除が半月遅れたこと、6月13日、7月16日に防除摘期がきたがいずれも防除が遅れたために、発病果率が高くなった。</p> <p>2. 今年は雨が少なかったため、大体適期に近い時期に防除することができて本病の発生は少なかった。</p>						
成績	黒点病の防除時期と防除摘期及び発病状況						
概	調査園	防除月日	シュミレーション による 防除適期	発病状況			
				前期	後期		
				発病果率	発病度	発病果率	発病度
	森氏園	5. 18	5. 18	1.1	0.02	5.7	0.12
		6. 13	6. 13				
		7. 19	7. 16				
		8. 19	9. 7				
		9. 7					
	吉川氏園	5. 26	5. 18	5.3	0.12	7.1	0.12
		6. 13	6. 13				
		7. 8	7. 16				
		8. 4	8. 26				
		8. 30					
	林氏園	6. 1	5. 18	8.6	0.23	8.2	0.22
		6. 25	6. 13				
		7. 20	7. 16				
		8. 25	9. 6				
		9. 7					
	(果樹試験場)						
普及上の留意点							